

奥山の豊かな森の保全・再生をめざして

# 第5回 日本奥山学会

～天然林ではなぜ多くの種が  
共存しているのか？～

—プログラム—

記念講演

## 多種共存の森 —その仕組みと恵み

講師

# 清和 研二 氏

清和研二(せいわ けんじ)氏プロフィール:

1954年山形県櫛引村(現鶴岡市黒川)生まれ。月山山麓の川と田んぼで遊ぶ。北海道大学農学部卒業。  
北海道林業試験場で広葉樹の芽生えたばかりの姿に感動して以来、木の花の咲き方や種子散布の精妙な仕組みに驚きながら観察を続けている。近年は天然林の多種共存の不思議に魅せられている。針葉樹人工林の施業にも長く関わり、生態系と調和した1000年続く林業を夢見る。  
現在、東北大学大学院農学研究科教授  
著書:「多種共存の森」(築地書館)「樹は語る」(築地書館)など

研究発表

「協働による環境共生型の森林管理のあり方—赤谷プロジェクトを事例として—」

上智大学大学院地球環境学研究科 伊藤純子氏

「きらめ樹間伐の実践と成果」

日本熊森協会岐阜県支部 松浦利重氏

「野生グマを飼育して分かったこと」

日本熊森協会研究員 水見竜哉氏

日時: 2016年 **7月10日** (日) 13時~17時 **要: 事前申込み**

場所: 関西学院大学 法科大学院 講義室 定員: 80名

(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

参加費: **500円** (学会員以外)

日本奥山学会会員募集中 年会費5000円

\*日本奥山学会員、学生は無料

お申込先: 日本奥山学会事務局

TEL: 0798-22-4190 FAX: 0798-22-4196

メール: [contact@okuyama-society.org](mailto:contact@okuyama-society.org)